

【千葉県流山市】若者のための居場所づくり支援①



流山市について

- 流山市は、令和8年4月1日時点で、小学生年代の人口（6歳から12歳まで）が、各年代2,000～2,500人であり、本市のボリュームゾーンとなっている。

➡今後、中学生年代・高校生年代の若者が増加していく可能性が高い。

背景

- 「若者のための居場所づくり」とは、かつては子ども・若者たちの居場所となり得た「空き地」や「路地裏」「駄菓子屋」などの「地域の異年齢・同年齢と関わる居場所」が減少している。

➡それらに代わる「安全で安心して過ごせる居心地のよい空間」を提供し、若者の社会との繋がりを確保することで、健全育成等に繋げていく必要がある。

流山市の取り組み

- 流山市では、令和7年9月より、中学生、高校生、大学生世代を対象とした、「若者のための居場所」を、市内2か所で開設しました。



子どもと一緒に、誰もが笑顔でいられる社会へ
「子どもの居場所づくり」におけるおとなの存在は、
単なる脇役にとどまるものではありません。
子ども・若者とともに、誰もが笑顔で
いられる地域・まちをつくっていきましょう！

啓発・解説動画
パンフレット（HP）
<https://www.cts.go.jp/policies/basho/kansharyo>

イバシオン
子どもの居場所に
あられる皆様

子ども家庭庁

出典：子ども家庭庁「子どもの居場所づくり広報啓発資料」チラシ



【千葉県流山市】 若者のための居場所づくり支援②



実施状況

- 利用中の若者の意見を聴きながら、「自宅」「学校等」に代わる「居心地のよい第3の居場所・空間（サードプレイス）」を、週4日（月・火・木・金）提供中。
- 開設時間は、17時から21時まで。



《利用中の若者たちの意見・要望から生まれた企画》

- ・ 食事やお菓子があると嬉しい ➡ 子ども食堂と連携、軽食を用意
- ・ 進路や学校生活について相談したい ➡ 相談職員を配置
- ・ 体を動かすイベントをしたい ➡ スポーツイベントを企画
- ・ 理数系の科目や、受験勉強を教えてもらいたい ➡ サポートDAYを企画
- ・ 居場所でゲームやイベントを実施したい ➡ ゲーム大会、サークル活動を企画

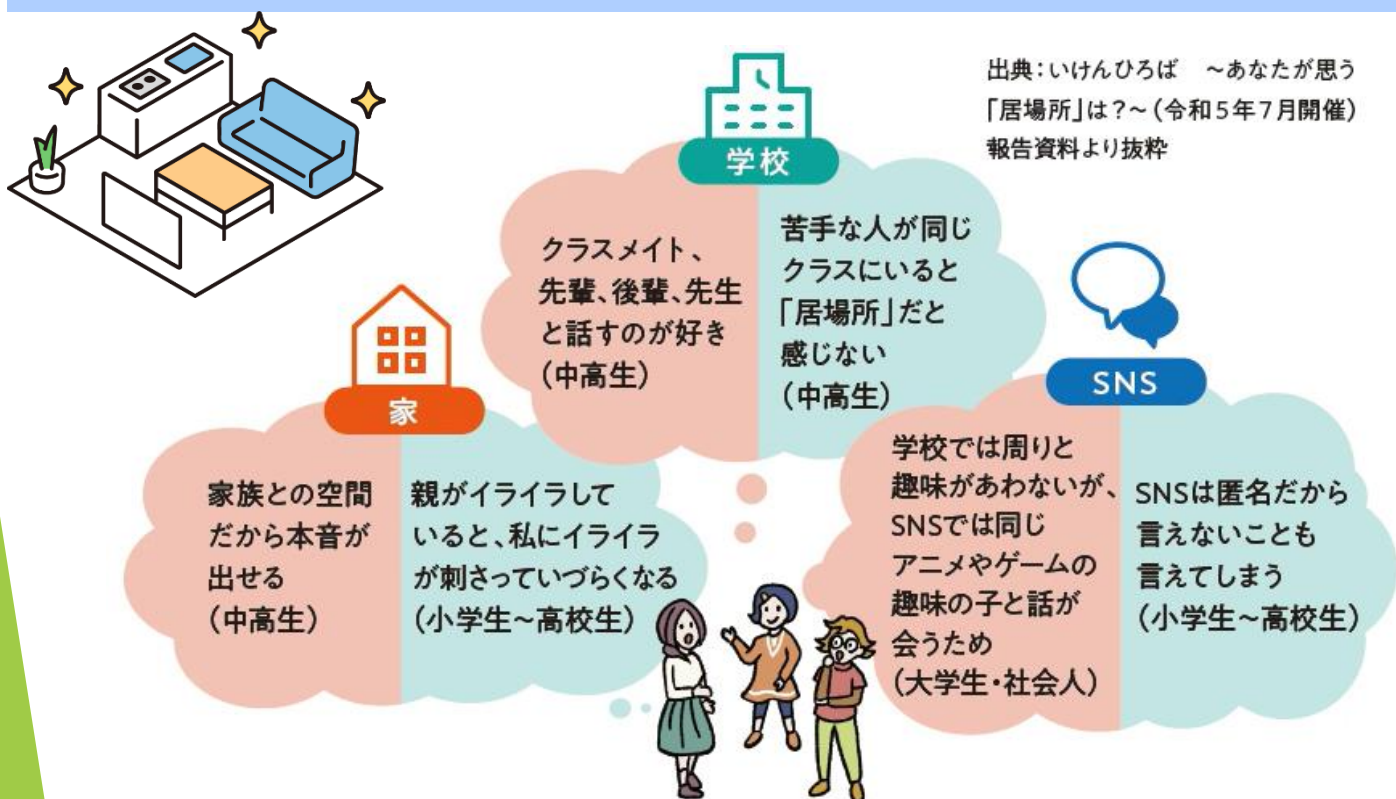


【千葉県流山市】若者のための居場所づくり支援③



居場所の目的

- 家庭や学校以外の「自身の意見・考えを発信できる場所」を整え、若者たちの「やってみたい」を可能な限り運営内容に反映することで、「リスクを恐れずにチャレンジできる機会と経験」を提供します。
- 一方で、全ての若者が「交流」を求めているわけではありません。他者との交流は、少なからず「否定的・抑圧的」な関係性を生じさせるため、担当職員が「理解者」となることで、支援が必要な若者の「セーフティネット」としての役割を期待しています。



【おとな向け】啓発動画



出典：こども家庭庁「こどもの居場所づくり広報啓発資料」パンフレットより抜粋

【おとな向け】解説動画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【千葉県流山市】若者のための居場所づくり支援④



得られる成果・解決される課題

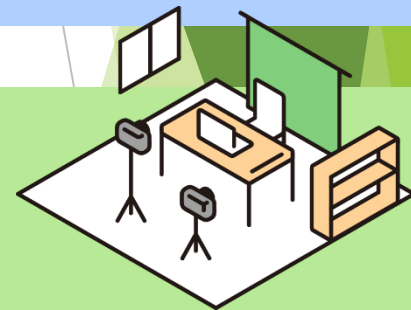
- 自己表現の機会を増やし、成功体験や多様な人々との出会いを経験することで、若者の社会参加を促進させることに繋がる。（人材の発掘、地域社会の次世代の担い手の創出）
- 地域社会との繋がり、若者たちの将来像の描写、ロールモデルとの出会いの機会を増加させ、進学や就労に対する具体的なビジョンを定着させる。（社会的自立の促進、将来に関する選択肢の増加）
- 家庭や学校以外の居場所の選択肢を提供することで、若者の孤独感・孤立感の軽減だけでなく、支援が必要な若者の早期発見に繋がる。（重大事態の予防、経済的困窮の予防）



連携イメージ



- 企業版ふるさと納税を活用した寄附
- 連携企業の職員による座談会や職場体験等、キャリアデザインを通じた連携
- プログラミングや動画編集、金融教育等の講座開催等、ワークショップを通じた連携
- 連携企業の商品開発やサービス改善に若者の意見を取り入れるなど、企画参加を通じた連携
- 賞味期限が近い食品等を提供いただく等、食品ロス削減を通じた連携



など

連絡先

千葉県 流山市役所 こども未来部 こども未来課
TEL：04-7150-6082
メール：kosodate@city.nagareyama.chiba.jp

